花火に邪魔されて

佐溝貴史

［登場人物］
男１
男２

男１、男２がベンチに座っている。遠くには花火の光と音

男１　　俺さ、お前に言わなきゃ言わなきゃと思ってたことがあるんだよ
男２　　なんだよ、そんな改まっちゃって
男１　　…俺…、［花火の音］するんだわ！！

花火の音がとても大きい

男２　　（驚きと共に満面の笑みになって）ぜんぜん聞こえなかったわ
男１　　じゃあなんでそんな顔したんだよ
男２　　で、なにするんだよ、スクワット？
男１　　しねーよ。なんでそんなことお前に言わないといけないんだよ。いや、俺さ――
男２　　じゃなに、ピーマンを克服？
男１　　もうしたよ。てかなに、そのくだりまだ続けたほうがいいの？あの俺さ…
男２　　うんうん
男１　　お前が［花火の音］陽子ちゃんと結婚するんだわ
男２　　しないよ
男１　　するんだよ
男２　　何言ってんだよ
男１　　じゃ、もう一回いうよ、・・俺さ、、お前が好きだった［花火の音］
男２　　（ひどく驚く）…俺も好きだった！！　（抱きつく）気持ち悪いな！やめろよ！
男１　　こっちの台詞だよ！！　なにすんだよ！
男２　　いきなり何いいだすんだよ！
男１　　俺、お前が好きだった陽子ちゃんと結婚するんだよ！！

結婚すると知って動揺

男２　　え、結婚？
男１　　うん、言おうと思ってたんだけど、ごめんな
男２　　そうか、そうか、や、いいよ、結婚な。そうか、てことは、今までただの友達だった○○ちゃんが、友達の嫁さんになったわけだから、俺の嫁さんに一歩近づいたわけだな
男１　　近づいてない近づいてない。遠ざかったから、すごく
男２　　（おおげさに）あ、そぉう
男１　　うん。

花火に邪魔されて２

佐溝貴史

［登場人物］
男１
女１

男１　　君に言いたいことがあるんだ・・
女１　　なに、、そんなに改まっちゃって
男１　　俺・・・、［花火の音］だ！！
女１　　（驚きと共に満面の笑みになり）ぜんっぜん聞こえない！！
男１　　じゃあなんでそんな顔したの
女１　　で、、なに？
男１　　や、、俺、、［花火の音］のことが好きだ！！
女１　　（また驚いて）ナルシスト！！
男１　　なんで！！？
女１　　だって、俺のことが好きだ！って
男１　　そうじゃないよ！！
　　俺、君のことが［花火の音］あーもう花火！！！
女１　　ごめんなさい！！
男１　　なんでそこは聞こえたの！？
女１　　聞こえた！
男１　　なんで？なんでダメなの？
女１　　だって……、［花火の音］が［花火の音］だし［花火の音］で、［花火の音］［花火の音］
　　［花火の音］［花火の音］［花火の音］［花火の音］なんだもん［花火の音］［花火の音］
男１　　ぜんぜん聞こえなかったけど、すっごくだめだってことはわかったよ
女１　　ありがとう
男１　　ありがたくないよ！
女１　　わたしもありがたくなかったよ
男１　　……へこむわー

溶暗、の途中で

女１　　（花火の音で聞こえない）嘘！（抱きつく）
男１　　え、何！？何？！

花火の音と光の中、何を言っているかは分からないが、二人、何か言っている
次第に暗転

花火に邪魔されて３

佐溝貴史

［登場人物］
女１
女２
男２

女１　　でさー、［花火の音］がさー、［花火の音］だったんだよねー
女２　　えー、そうだったんだー［花火の音］［花火の音］だよねー
女１　　そうなの！［花火の音］［花火の音］なの知ってる
女２　　あれ、［花火の音］［花火の音］［花火の音］
女１　　や、でも［花火の音］［花火の音］だったからさ
女２　　あはは！　たしかにねー
女１　　〇〇なら分かってくれると思ってたんだー
女２　　［花火の音］［花火の音］
女１　　ありがとー
男２　　お前らが分かり合ってるなんて大嘘だ！！
女１・２　分かり合ってるもんねー

女１・２、花火の音の中会話を続けて二人して笑ったり。

女２　　ほんと、良かったよねー
男２　　［花火の音］［花火の音］［花火の音］［花火の音］［花火の音］！！
女２　　何いってんのかぜんぜんわかんない
男２　　納得いかねえ！！

花火の音の中、会話し続ける女二人